

2. 浅田家墓所 地中レーダー探査 テスト結果報告

NPO法人 i- さいと 地中探査研究所 (Saitobaru Geophysical Archaeometry Laboratory)

www.GPR-SURVEY.com

東 憲章

1 現場名 浅田家墓所（千々石ミゲル夫妻伊木力墓所）

2 所在地 長崎県諫早市

3 探査実施日 平成 26 年 12 月 21 日

4 使用機材及び設定 GSSI 社製パルスレーダーシステム SIR-3000 500MH z アンテナ

探査レンジ 100NS 512sample/scan 16bit 50scan/second

任意の座標より X・Y 方向に 25cm ピッチにて平行移動

総測線距離 175 m

5 所見

浅田家墓所に対して、上記の機材及び設定にて地中レーダー探査を実施した。

墓碑石及び覆屋、線香鉢、花瓶、石垣等により、アンテナ走査を行える場所は非常に狭小であり、十分なデータの収集ができたとは言いがたい。

しかし、解析の結果、墓碑石を取り囲む石垣列の内側に、直径 1 m 程度の円形の強い反射を捉えることができた。深さは、20 ~ 40cm で反射が始まり、122 ~ 142cm で消える。位置、深度、形状等を考慮すると、墓坑である可能性が高いと思われる。

また、墓碑石に向かって左側の石垣外に長方形状の不明な反射を捉えており、事前に実施された試掘調査のトレーナーである可能性もあるが、その範囲に特に礫石が多く見られたことから、何らかの遺構である可能性も否定できない。

地中レーダー探査は、X 線や CT スキャンのように、物体そのものを写しているわけではなく、アンテナから発した電波が、土中の変異によって反射して戻ってくる速度と強さによって、周辺との差違を画像化しているものである。そのため、狭小な範囲でのデータは、判読が困難となる場合もあり注意を要する。

今後、更に詳細な再探査等を実施する場合には、出来るだけの障害物を廃し、極力広い範囲の探査を行うことを提案する。

(ひがし のりあき 宮崎県立西都原考古博物館)

number of profiles=42 total survey length=175.m

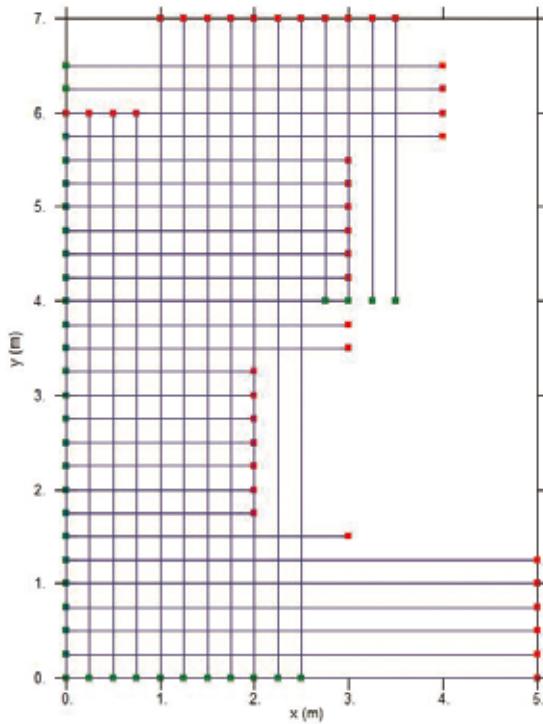


図 6-2-1 浅田家墓所 地中レーダー探査
アンテナ走査図

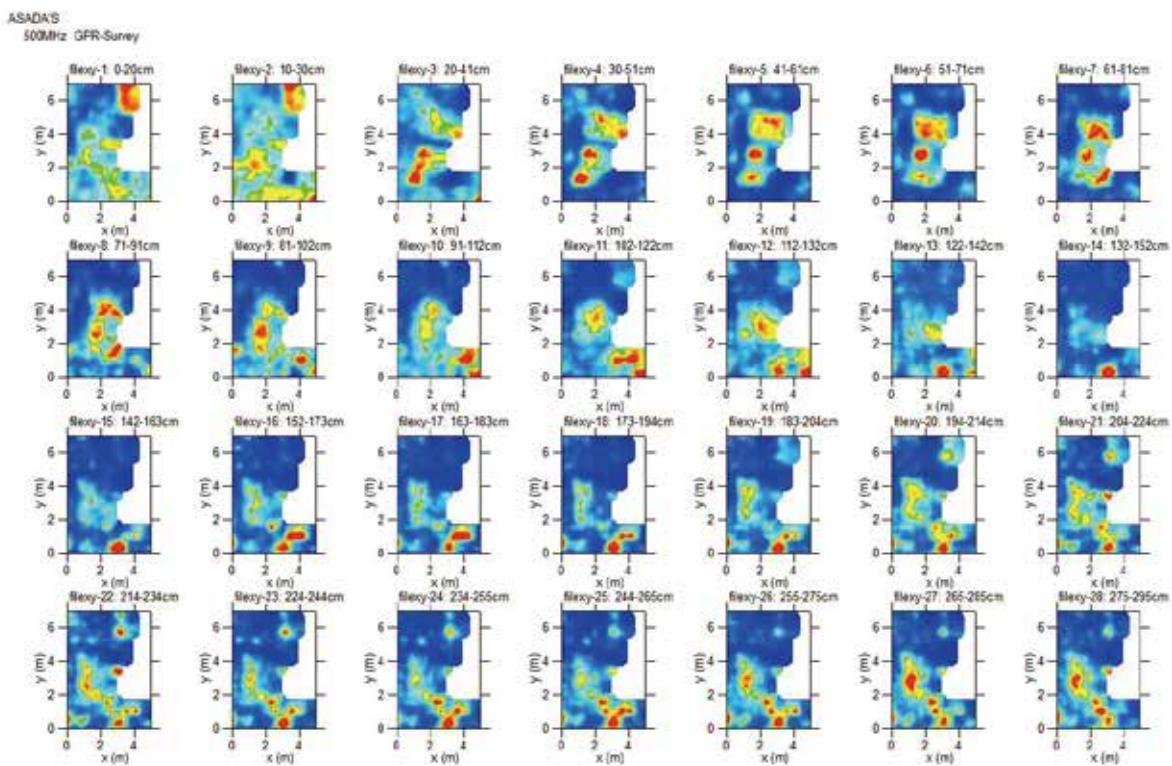


図 6-2-2 浅田家墓所 地中レーダー探査 タイムスライス

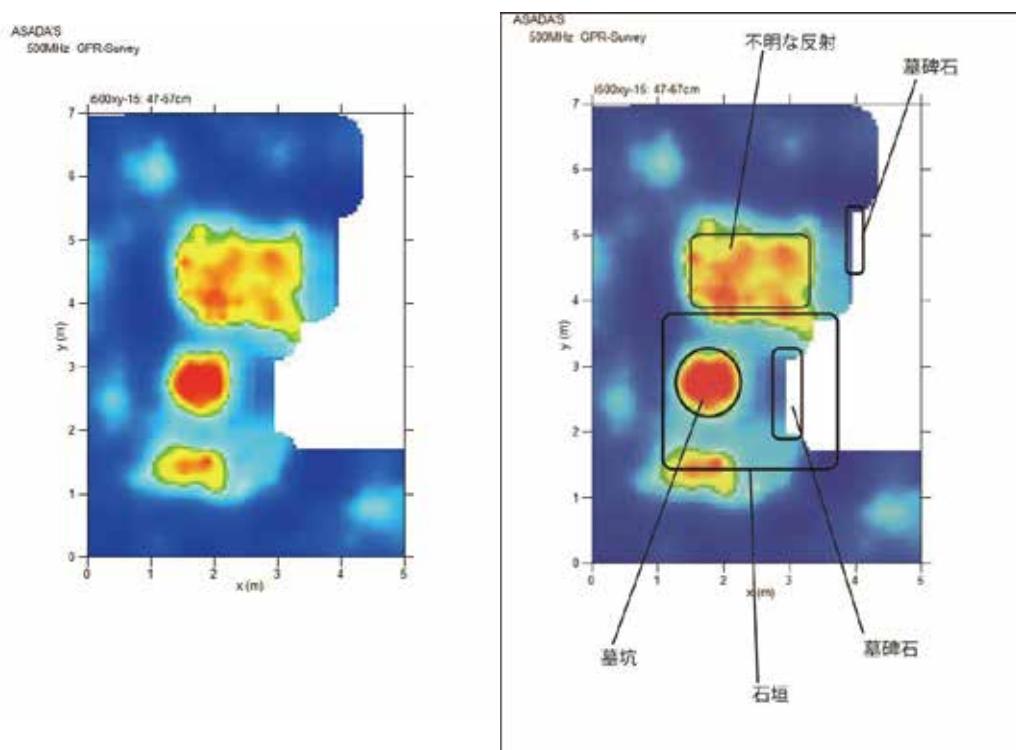


図 6-2-3 浅田家墓所 地中レーダー探査 探査結果 1

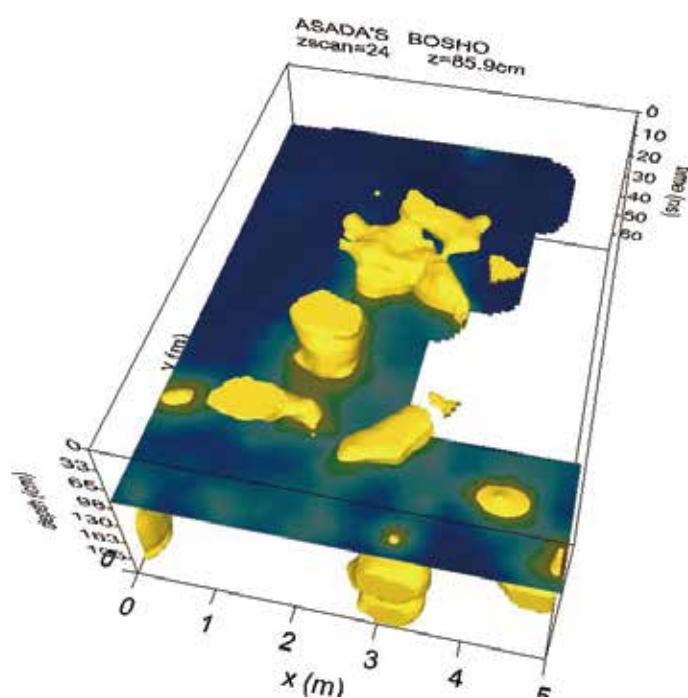


図 6-2-4 浅田家墓所 地中レーダー探査 探査結果 2



図 6-2-5 地中レーダー探査 実施風景 (2014.12.21)